

校長室だより **春日** (しゅんじつ)

校長 清武 直人

**ルーズベルト・ゲーム**

「ルーズベルト・ゲーム」にはまってしまいました。日曜午後9時からのテレビ番組です。涙は出るし、最後はすかっとするし。でも、先週の日曜日が最終回でした。

この番組のコンセプトは、「逆転」です。どんな逆境に追い込まれても、必ずその状況を変えることができる。そんな勇気を与えてくれる番組でした。

そして、逆転の秘訣は、「仲間を信頼すること」そして、「正々堂々と戦う(生きる)こと」。

韓ドラの三角関係にやきもきするのもしいけど、日本のドラマも捨てたもんじゃない！

**大逆転**

中1男子4人組が、ちょっとした不注意で小学校の窓ガラスを割ってしまいました。4人は、お詫びと反省の気持ちを込めて、毎朝登校前に小学校に来て、学校周辺の掃除をすることにしました。

初日はあいにくの雨で、掃除をやめて校門に立ち、登校してくる小学生に挨拶をすることにしました。

春日小学校スタイルで、「笑顔で」「元気な声で」「ハイタッチ」。中1男子4人組が気持ちよく、一緒にやってくれました。

そこに、今年卒業した中学1年生の女の子が通りかかりました。

「わあ、いいな！わたしもやる！」中学生が一人増えました。また通りがかった中学1年生の女の子が「わたしも」と言っただけで加わりました。そして、もう一人。

小雨の降る朝でしたが、何とも気持ちのよい朝となりました。

中1男子4人組が朝の清掃を続ける間、中1女子の朝の挨拶も続けました。彼らのおかげで、数日間、格別な朝を迎えることができました。

これぞ「ルーズベルト・ゲーム」。中1男子4人組の大逆転です。

自分たちの過ちに誠実に向き合う姿が中1女子を巻き込み、春日小学校に最高の朝を作ってくれたのです。

**大ちゃん(仮称)**

もうずいぶん前に、大ちゃんという男の子と出会いました。当時、小学3年生でした。お母さんと二人暮らしの元気のよい子でした。

しかし、お母さんは病気がちで、大ちゃんは、そんなお母さんの姿を見るのが辛くてたまりませんでした。

お母さんは病気がちでしたが、大ちゃんにしっかり育てて欲しくて、厳しく叱ることもしばしばでした。

訳あって、夜中に大ちゃんと二人っきりになったことがありました。その時、大ちゃんが私に言いました。

「どうして、ぼくには悲しいことばかりあるの。」

わたしには、すぐに返す言葉が見つかりませんでした。ただ、

「神様は、どの子にも同じ数だけ幸せを用意してくださってるんだよ。」  
「大ちゃんは、今まで悲しいことがいっぱいだったから、これからは、幸せがいっぱいやってくるよ。」

そう言うのがやっとでした。でも、

どんなに悲しくても、辛くても心を折らないで希望を持って正しく生き続けるなら必ず、この悲しみを消し去ってしまうほどの幸せに出会うことができる。人生の「大逆転」だ！